2019.4.17

第6回 MaSC 技術交流会 'Real Exchange" を開催しました

2019 年 4 月 17 日(水)、東北大学片平北門会館エスパスにて、第 6 回 MaSC 技術交流会 'Real Exchange'' を開催し、約 80 名の方々にご参加いただきました。

今回のテーマは「イノベーションを支える匠の技」。MaSC 村松センター長の挨拶で開会し、最初の特別講演として、本学の理学研究科のご出身でNAMBUギター工房 tupli の代表である南部 暁生様から「アコースティック・ギターに秘められた木工技術とノーハウ」 と題する講演をいただき、木工ならではの"匠の技"について、大勢の参加者が興味深く聴講していました。



MaSC 村松センター長



tupli 南部暁生氏

続いて、本学片平キャンパスの4つの附置研究所:金属材料研究所、流体科学研究所、電気通信研究所、多元物質科学研究所に所属する技術職員6名の方々より、それぞれに特徴ある匠の技と独自の創意工夫が盛り込まれた工作事例が紹介された後、株式ウチダの佐々木泰孝取締役社長、株式会社 IBUKI の松本晋一代表取締役社長、板垣金属株式会社の板垣薫代表取締役から、それぞれの事業のご紹介と世界に誇れる匠の技のご紹介をいただきました。

その後、多喜義彦 MaSC 客員教授がモデレーターを務め、 講演者の方々によるパネルディスカッションが行われ、今後の 取組みについての新たな提言など活発な議論がなされました。

最後に、特許庁オープンイノベーション推進プロジェクトの高 田龍弥様から「特許情報を活用したマッチング支援事業の概 要」と題しての特別講演ご講演をいただき、

大盛況のうちに閉会しました。

講演会終了後、老桜の咲く MaSC 中庭にて懇親会が催され、約40名の方々にご参加いただきました。 今回の懇親会でも、活発で前向きな意見交換が行われ、 また新たなつながりが生まれました。





